２０１４年２月１３日発行　NO.２５

TAKEHARA ROTARY CLUB　ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710
WEEKLY　BULLETIN　竹原ロータリークラブ週報

会　　長	木村　安伸	副ＳＡＡ	菅　　義尚
会長エレクト	夜船　正昭	直前会長	荒谷　隆文
副 会 長	久藤　孝仁	管理運営	本庄　純夫
幹　　事	堀越　賢二	会員組織	大成　義彦
副 幹 事	佐々木秀明	奉　　仕	吉本きよ子
会　　計	宮本　和彦	広　　報	三好　静子
Ｓ Ａ Ａ	市川　重雄	Ｒ財米山	藤中　　保

四つのテスト
1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのために
　なるかどうか

＜事務局＞〒725-0026竹原市中央4丁目8－2第一おおぎビル102号
TEL 0846-22-7570　FAX 0846-22-7651　Email:rc-take@estate.ocn.ne.jp
URL:http://www5.ocn.ne.jp/~rc-take/
＜例会場＞〒725-0021竹原市竹原町3591－1 大広苑　TEL　0846-22-2970
＜例会日＞毎週木曜日12：30～13：30　　発行：クラブ広報委員会

本日のプログラム　２月１３日	次週のプログラム　２月２０日
誕生祝・各会員各記念日祝 誕生月該当者会員卓話	Ｉ・Ｍ報告

【２０１４年１月３０日　第２４１６回例会記録】
【２０１４年２月　１日　第２４１７回例会記録】

各会員各記念日（２月）

□会員誕生日	金澤　節生	三好　静子	
□結婚記念日	鴨宮　弘宜		
□配偶者誕生日	大田　嘉弘	坂田　武文	
	荒谷　隆文	夜船　正昭	
	小坂　啓子		
□事業所創立	土居　敏昭	荒谷　隆文	

１月３０日　第２４１６回

□ソング：それでこそロータリー

スマイルボックス

□年賀状･･･新宅
□特別スマイル
・先週と今週、スマイルが出ないので皆様にお願いの為スマイルします。ご協力お願いします。
（市川重雄）
・市川会員のメッセージに賛同いたします。
（原田一平）

幹　事　報　告

幹事　堀越　賢二

・竹原青年会議所新春互礼会お礼状
・竹原市成人式お礼状
・クマヒラ様より抜粋のつづり

会　長　の　時　間

会長　木村　安伸

時のたつのは早いもので、1月はもう明日1日のみとなりました。
先般広島市で多数の中学生らがノロウイルスに集団感染しましたが、その後もノロウイルスの猛威が続いていて、近隣の県でも食中毒が発生しています。手洗いは十分に行い予防に努めましょう。
さて、明後日2月1日(土)はIMです。今回のテーマ「ロータリーの夢計画について」のパネルディスカッションには、私も出席しますので宜しくお願い致します。
続いて翌2日(日)が、第36回竹原ロードレース大会です。多くの会員にぜんざいと黄な粉餅サービスを手伝って頂きますことを感謝申し上げます。主催者の竹原市からも、当クラブのもてなしは毎年参加者から大変好評であり、感謝致しますとの書簡が届いています。なお、各自寒さ対策には万全を期して下さい。
終わりになりますが、去る25日(土)2年振りに沖縄のやんばるへ花見に行って来ました。晴天に恵まれ気温は23℃で、絶好のコンディションでした。花見をした八重岳は、今迄で一番良かったと思われる位の満開に近い状態で、大いに堪能しました。桜の種類は、緋寒桜（沖縄では寒緋桜と言っています）で濃い緋色をしています。花びらはソメイヨシノの様に散らないで、萎んで落ちます。会員の皆様も一度は花見にお出掛けになりませんか。

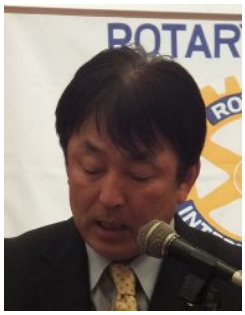
委　員　会　報　告

□クラブ広報委員会　　委員長　三好　静子
ロータリーの友2月号へ、ぶちぇぇ竹原祭りにおいてポリオ撲滅支援のバザーを行った記事が掲載されましたのでご覧下さい。
□新世代奉仕委員会　　委員長　福本　博之
2月2日(日)竹原ロードレース大会においてぜんざいときな粉餅のおもてなしをします。集合時間は8時30分です。現在20名ほどの参加者となっています。当日は帽子、ロータリージャンパーをお持ちの方はご持参下さい。また防寒対策もお願いします。駐車場は体育館横の第三駐車場です。駐車許可証を本日お配りしていますのでご掲示下さい。
□創立50周年実行委員会　　委員長　本庄　純夫
50周年実行委員会構成表の訂正版を本日配布しています。例会後、実行委員会委員長会議を行いますのでご参集下さい。

クラブ決算報告

2013-14年度中間決算について宮本会計より報告があり了承されました。

会　員　卓　話



副会長　久藤　孝仁
先般理事会に外部卓話のお願いをしましたが、急遽東京出張となり実現に至りませんでした。その方は夜船会員の甥子さんで、吉名町出身の出水幸司さんです。折角の機会ですので、出水幸司さんのお父さんから聞いたこと、私が調べたことを本日の卓話にさせて頂きたいと思います。宜しくお願いします。
出水さんは、呉高専卒業、ニューヨーク州立大学を卒業後、AMDA（特定非営利活動法人）The Association of Medical Doctors of Asiaにお世話になり、インドネシアでの復興支援を担当、その後アフリカ関連の総括で活躍し、総務関係の為、外務省との折衝等で活躍されたそうです。AMDAでの経験等から専門職の必要性を痛感し広島大学大学院にて、平和構築関連の勉強をされました。卒業後はJICA（独立行政法人国際協力機構）Japan International cooperation Agencyにて、初めに赴任したのはアフガニスタンだったと聞きました。次に南スーダンに赴任しましたが内戦を機に現地が危険であることから、現在は東京の南スーダン事務所に在籍し、援助活動の支援を計画されています。世界における活動等に関して、竹原市から世界に対する援助活動、ODAへの関与、世界の中の日本の係わり方、人道支援から世界環境にと、視野をグローバルに向ける姿勢は、郷土の誇りでありますし、資質の高い処に価値観をみいだし活動されており、ただただ敬服するところであります。しかしながら、ご両親のこれまでの支援を思いますと、家族間の絆の強さを強く感じ、「大変だったろうな」と感心せざるを得ません。
まず、AMDAとは？私もAMDAと聞いても知識がなく、少しばかり話を聞いただけですので、調べてみましたが、本部は岡山市にあり、「相互扶助に精神に基づき、災害や紛争発生時に、医療・保健衛生分野を中心に緊急人道支援活動を展開。世界30ヵ国にあるネットワークを活かし、多国籍医師団を結成して活動を実施している。」竹原では安田病院の娘さんの、まいこ先生もメンバーの一員だと聞いております。
出水さんのお父さんの話では、インドネシアではマラリアを発症し40℃以上の熱で入院されたそうです。大変心配された事を聞きました。その時安田病院のまいこ先生は幸司君と同級生でもありAMDAの関係からマラリアのことは聞いていたらしいんですが、ご両親が心配されるからと伏せていたらしく、お父さんが安田病院でまいこ先生と会ったとき、息子がマラリアにかかった事を言うと、今の治療の話をされて、大丈夫ですからと聞き安心したとのことでした。
また、インドネシアでは犬に咬まれて、狂犬病の予防のため入院したこともあるそうです。現地の人が大丈夫だと言うので何故かと聞くと、もし犬が狂犬病を持っていたら咬んだ後に死ぬんだが、その犬はまだ生きているから大丈夫だと。現地の迷信か何かでしょうが、結局は何ごともなく治療をすませたとのことでした。
他に心配ごとはなかったか、お父さんに尋ねましたが、ニューヨークで初めは英語も分からないのにジュースを買うにも何を買うにも英語だし大丈夫か大変心配したそうです。本人も語学の壁にぶつかり、授業は英語ですから、初めは何を言っているのか分からなくて不安だったそうです。
次に、JICAについてですが、所在地は東京都千代田区、設立年月日は平成15年10月1日、資本金7兆7820億、目的は「独立行政法人国際協力機構法（平成14年法律第136号）に基づき設立された独立行政法人で、開発途上地域等の経済及び社会の開発若しくは復興又は経済の安定に寄与することを通して、国際協力の促進並びに我が国及び国際経済社会の健全な発展に資することを目的とする。」
主な業務内容は・発展途上国への技術協力・有償資金協力・無償資金協力・国民等の協力活動の促進・海外在住者、日系人への支援・技術協力のための人材養成及び確保・調査及び研究・緊急援助のための機材、物資の備蓄、提供・国際緊急援助隊の派遣、等だそうです。
先日、幸司氏とゆっくり話す時間があり、私が感じるご両親の心情や、また、JICAの活動の趣旨等

話しました。とても素晴らしい活動に感心し、当ロータリークラブで卓話をしていただけるようお願いをしました。帰国時には南スーダンで活動していましたが、内戦の激化を受け帰国し、内戦が鎮静次第、再び現地での活動を継続されることを話されていましたが、内戦がいまだ継続し活動の継続が困難らしく、急遽東京に担当事務所が開設され、現在は東京事務所にて勤務されています。
卓話依頼をした経緯から、私なりにAMDA,JICAを少しでも紹介させていただこうと思い、WEBにて活動状況等を調べましたが、私の考えていた以上に、崇高で政治関与の強い、世界の中の日本を感じさせられる活動に、私が紹介するレベルでないことを実感しました。同時にこのことを皆様に紹介し、ロータリークラブの人道支援や、識字率の向上等のロータリーの友などの雑誌の世界だけで、世界貢献を感じていた浅はかを恥ずかしながら、幸司君を通してのことで、皆様にお話しする事の方が意義深いと思い、考えを整理しました。
いろいろな災害等で、私たちも募金活動をしていますが、日本人のボランティア活動に対する考えと、欧米等での考えの違いなども話し合いました。まず、募金では、それを管轄する団体が途中で利益を得たりしないで、募金が直接被災地で、直接有意義に使われることが、日本人の考えにはある様に思いますが、それを統括する団体がいるからこそ、その団体を通して被災地の方々に善意の気持ちが伝わるとの考えから、欧米等では慈善団体等の諸経費の使用を当然のことと認識しつつ、寄付金が行われているようです。
寄付しても誰かが利益をもたらすのではなく、その寄付金がそのまま被災の地域で使われることが、望ましいとは思いますが、現状はそれらの団体があるからこそ、寄付金が集められ有意義に使用されることから、それらに係る人件費等当然発生するわけです。日本人はネームバリューに弱い所がありますが、ある某団体は世界基準から言いますと遥かに高い手数料を取られているようです。
また、ボランティア活動においても、海外では、日本人よりは宗教感から生まれるところがあり、そのあたりから感じても日本人の無宗教感が少し感じられます。NGO,NPO,ODA（Official Development Assistance/政府開発援助） 等、横文字の中に隠れる趣旨を、日本語表記で世界人を意識しながら、人道支援を行える日本社会になれないかと思います。
幸司氏の年齢は40前半で我が子よりは少々上ですが、父親、親族になった気持ちで両親の心労や病気怪我等の心配、ましてや、海外の内紛状態にある発展途上国での活動に心配しない親がありましょうか。総理大臣の活動計画や他国の経済、戦略状況をびくびくしながら、ニュース新聞での情報以外に確認するすべなく、我が子の健康を祈る親の心情を察しつつも、平素は私達と冗談交じりで息子の赴任先での状況を推測しながら会話する時に、私としても少々感慨深いものがあります。
少し脱線しますが、彼が、ニューヨークの大学を卒業する際に、両親が渡米し、卒業式に同席し、その後彼の勧めで昼食にハンバーガーを食べに行ったそうです。親としたら息子が連れて行ってくれたレストランで、息子に恥をかかせてはいけないとの思いで、厚みのあるハンバーガーをどのように食べれば良いか分からず、品良く？上から一枚ずつ食べていたら、急に彼が周りの温かい笑いに気づき、「お父さん、そんな恥ずかしい食べ方しないで」って自分の物と交換して、食べ方を教えてもらった事を、面白おかしく語ったお父さんに、人の善さを感じるとともに、私の目から温かい涙が流れたのが、つい最近のことに感じます。
後日また、卓話のチャンスがありましたら、是非ご推薦をさせていただきますので、お楽しみにお待ちくださいますよう、お願い申し上げます。

次年度理事会報告

□日　時　平成26年1月30日(木)
□場　所　大広苑
□出席者　12名
□議　題
①次年度理事担当委員会の件　　承認
②RIテーマ幕購入の件　8,400円　　承認

《出席報告》
会員数３３名　出　席２５名　メイク　２名
欠　席　５名　免　除　１名　出席率８４．８５％

２月１日　第２４１７回
G9IM:西山別館

13:30～13:50　開会式
14:00～　　フォーラム
「ロータリー財団夢計画について」
講師　伊賀　訓之様（徳山東RC）
14:30～15:20　パネルディスカッション
G9クラブ各会長
15:30～16:30　基調講演
「気候変動と地震のリスクに備える」
講師　富永　秀一様
16:40～17:00　閉会式
17:20～18:30　交流親睦会

《出席報告》
会員数３３名　出　席１７名　メイク１２名
欠　席　３名　免　除　１名　出席率９０．９１％

沖田ガバナー

パネルディカッション

伊賀訓之氏

第36回竹原ロードレース大会ぜんざいサービス実施
2月2日(日)バンブー公園

2月2日(日)バンブー公園にて竹原ロードレース大会が開催され、恒例のぜいんざいときな粉餅のおもてなしを行った。心配した雨も降らず、餅つきから始まり、ぜんざい、きな粉餅を作り、走り終えた子供達や応援の父兄の皆様方におもてなしをした。とても喜んで頂き心が温かくなり充実した奉仕活動ができました。
会員19名、佐渡会員奥様、大成会員奥様、市川会員の娘さん、お孫さんの綾ちゃん、早織ちゃん、事務局、計25名が参加。皆様大変お疲れ様でした。